



しののめYMCAこども園

園だより

2019年度9月号

発行者こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

9月聖句 「沖に漕ぎだして網を降ろし、漁をしなさい」 ルカによる福音書 5章4節

例年に比べ梅雨明けが遅く、7月は日照不足で農作物に影響がでました。7月下旬になり、やっと夏らしい天候になり、ご家族で楽しい時間を過ごした事と思います。

7月中旬に『ワイズ国際協会第28回アジア太平洋地域大会』が仙台で行われ、私はこども園をサポートして下さっている「東京ベイサイドワイズ」のメンバーと一緒に参加をしました。日本はもとより、台湾・韓国・中国・インドなどアジア地域から、約750名のワイズメンバーが集まりました。

今回の会場は仙台で、2011年3月11日に発生した、東日本大震災の被災地のひとつでした。発生から8年が経ちますが、その出来事を風化する事なく、アジア地域の多くのワイズに現実をみてもらい、現実を知ってもらいたいと言う願いから、今回の開催地は仙台となりました。

荒浜小学校・・・そこは海岸線から7~800m離れた所にあり、今は「震災遺構」として、次世代にむけて震災が起きた事を記憶に留め、その教訓を伝えるために保存されています。大きな津波が押し寄せ、校舎屋上に約320名が避難し救出されましたが、校舎2階の天井近くまで、津波が押し寄せた海水の痕が今でもしっかりと残っていました。屋上に上がると、視線の先には海が見えました。当時、家が建っていた場所は全て更地になっており、視界に入ってくる景色は波しぶきを上げる海と真新しいお墓でした。この景色を見ながら、海と同化しながら、押し寄せて来る巨大な津波を想像すると、どんなに恐ろしく不安だったのかを痛切に感じました。

こども園では月1回、避難訓練を行っています。震災の体験は容易にできないが故に、万が一に備えて日々の訓練は重要だと感じています。現実を見て、現実を知る事で沢山の気づきと学びがありました。

2学期は、沢山の園行事やイベントが予定されています。今学期もこども達のために、保護者の皆様と一緒に、汗を流していきたいと思っております。引き続きご理解ご協力をお願い申し上げます。

園長 堀江和広